

上場会社名 東洋機械金属株式会社
代表者 代表取締役社長 片山 三太郎
(コード番号 6210)
問合せ先責任者 執行役員企画室長 二見 泰博
(TEL 078-942-2345)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	420	420	330	16.01
今回修正予想(B)	10,500	580	835	651	31.58
増減額(B-A)	1,000	160	415	321	
増減率(%)	10.5	38.1	98.8	97.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	10,131	610	610	440	21.38

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	900	900	700	33.96
今回修正予想(B)	20,500	980	1,235	925	44.87
増減額(B-A)	500	80	335	225	
増減率(%)	2.5	8.9	37.2	32.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	19,544	967	1,229	885	42.96

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の見通しにつきましては、国内景気は回復基調にあり、海外では米国経済が堅調であります。他方、依然として金融不安が残り、中国等の新興国経済は減速傾向が続くと予想されます。しかしながら、第1四半期連結累計期間において、当社製品の受注・売上は、円安効果により欧米向けが回復し、スマートフォンやタブレット端末等のIT機器・電子部品を中心とする韓国や中国における需要が大幅に増加しました。従って、第1四半期累計期間の結果から、前回業績予想を上回る見込みとなりました。

通期の見通しにつきましては、当社を取り巻く市場環境は、年度後半において、国内外ともに設備投資は低調に推移し、厳しい状況が見込まれますが、海外を中心とした拡販による受注・売上の確保及びコスト低減による業績改善に努めてまいります。これらの業績改善分を踏まえ、通期の業績予想についても上記の通り修正いたします。

※上記の業績予想は、発表日現在における将来の見通し、計画の前提となる予測が含まれております。

実際の業績は、今後の様々な不確定要因によって記載と異なる可能性があります。